

令和5年10月 定例教育委員会々議録

1 日 時 令和5年10月26日(木) 午後1時28分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室301

3 出席委員の氏名

教 育 長	小 林 靖 直	教育長職務代理者	中 野 信 男
委 員	秦 久美子	委 員	斎 藤 純 郎
委 員	小 林 恵 子	委 員	上 田 佳 澄

4 説明のため出席した職員

主 幹	大 森 亨	学校教育課長	長 和 俊
社会教育課長	石 黒 昭 彦	統括指導主事	小 池 純 一

5 本委員会書記

学校教育課 大塚小由紀 他2名

6 傍聴人

1名

7 会議に付議した事件

会議録の承認

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告
- (3) 寄付報告

専決処分の報告について

報告第10号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題

協議第7号 新規共催・後援申請について

8 閉 会

会議録 別紙のとおり

1 開 会 宣 言 午後1時28分～

2 会議録の承認

全員異議なく、令和5年9月定例教育委員会々議録は承認された。

3 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定
〈各課長が報告〉

○委員（斎藤 純郎）

長善館史料館の秋の企画展に行ってきた。高橋竹之介の福沢諭吉に関する書など門下生たちの貴重な書画や作品を拝見することができた。私が長善館史料館を訪れた際には、出雲崎町からの来館者が「マンガふるさと燕の偉人 鈴木 文台」を買い求めておられた。この漫画には、現代にも通じる長善館の8つの精神が描かれている。多くの方から、これらの漫画を手にとっていただければと思う。また、企画展を契機に市内外から多くの方々に長善館史料館を訪れていただければと願っている。

(2) 教育長報告
〈小林教育長が以下のとおり報告〉

① はじめに

- 教育活動の充実期。小中学校は、概ね順調に2学期の教育活動を展開している。市教委事務局は、今年度の事業を評価しつつ、来年度のビジョンや施策を明確にしていく。
- 夢中になって学ぶ子どもたちや明るくハツラツと授業や業務にあたる教職員の様子を参観すると元気をいただく。可能な限り現場を訪問し、実情や課題を直接見たり、聞いたりし、その上で必要な措置を講じていくよう努めていく。

② 9、10月（9月5週～10月第3週）の行事から

1) 燕市未来いきいき地域クラブ検討委員会【9月26日（火）】

7月よりスタートした「部活動の地域移行」について、現状や今後の方針等について、活発な話し合いが行われた。短・中・長期、それぞれの視点で取組を段階的に進めていく。

2) 燕中学校「つばくろーLab.」開設セレモニー【9月27日（水）】

急速に発展する技術や多様化する社会に対応できる人材を育成すべく、民間企

業との協働による「STEAM 教育モデル事業」に取り組んでいく。ハイスペック PC や3Dプリンタなどが設置された環境の活用を進めていく。

3) 声優朗読劇「フォアレーゼン」【10月1日(日)】

プロの声優の演技に圧倒される迫力があつた。多くのファンが県内外から訪れていた。

4) 地域コーディネーター研修【10月2日(月)】

新潟市の地域教育コーディネーター(2名)を講師に招き、実践例をご紹介いただいた。様々な取組やご意見を伺うことができ、有意義だった。

5) 燕市・弥彦村児童生徒科学研究発表会【10月5日(木)】

小中あわせて34研究、35名の参加があつた。大人顔負けの専門性、着想のユニークさ等、理科・科学教育の充実ぶりを伺うことができた。

6) 燕市いじめ防止対策等専門委員会【10月16日(月)】

燕市におけるいじめ問題の実態、いじめ防止の取組等を報告し、今後の取組について協議した。いただいたご意見を具現していく。

③ 結びに

- 「つばめっ子かるた」の絵を描いていただいた黒井健先生がご来庁になり、ご挨拶させていただいた。燕のラーメン(店名もいくつか)なども覚えていてくださり、嬉しくなった。またお力をお借りできる機会があることを心より願っている。

○委員(中野 信男)

「つばくろーLab.」について、どのようなことを行うのか、これからの計画を教えてください。

○統括指導主事(小池 純一)

今年度は、燕中学校のものづくり PC 部の子どもたちに部活動の中で活用を進めてもらい、どのようなことができるのかを実験的に色々と試してみて、来年度には、各学年や教科の中に取り入れていきたいと考えている。

○委員(中野 信男)

STEAM 教育モデル事業と関連づけて、どのようなことを行うのか教えてください。

○統括指導主事(小池 純一)

作っていただいた部屋には、形のあるものを作るだけではなく、ハイスペックのパソコンなどを使って自分たちが表現したいことを動画にしたり、編集したりすることがで

きる機材が整備されている。また、ミーティングができる可動式のテーブルが配置されていたり、大きなスクリーンやプロジェクターも整備されている。子どもたちに、この部屋に行くとすごい設備の中で友達に説明をしたり、聞いたりすることができる、何かいいことがある、と思ってもらえる部屋になっていけばよいと思う。

また、燕市での取組なので、ぜひ、企業様、事業者様と繋がるものになっていくと良いと考えている。

○委員（中野 信男）

「民間企業との協働による」とあるが、このことについては具体的に決まっているか。

○教育長（小林 靖直）

「つばくろーLab.」の機材等は、民間企業様に寄附していただいたものである。

これをどのように活用していくかを、これから大学の先生や企業のエンジニアの方と一緒に考えていきたいと思っている。また、燕市の企業様ともコラボできればよいと考えている。

(3) 寄附報告

3件の寄附について

〈No. 1、2、3について長学校教育課長が説明〉

4 専決処分の報告について

報告第10号 専決処分の報告について

3件の後援申請について

〈No. 1について長学校教育課長が説明〉

〈No. 2、3について石黒社会教育課長が説明〉

5 協議題

協議第7号 新規共催・後援申請について

2件の後援申請について

〈No. 1、2について長学校教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく協議第7号は承認された。

6 閉会 午後1時53分

燕市教育委員会会議規則(平成 18 年燕市教育委員会規則第 2 号) 第 17 条第 2 項の規定により会議録に署名する。

令和 5 年 11 月 24 日

教 育 長 小林 靖直

教 育 委 員 中野 信男

教 育 委 員 秦 久美子

教 育 委 員 斎藤 純郎

教 育 委 員 小林 恵子

教 育 委 員 上田 佳澄

会議録作成職員 斎藤 千華